

LE-7Aエンジン燃焼試験結果（種子島第7回）について

平成9年5月21日
宇宙開発事業団

宇宙開発事業団は、平成9年5月20日15時23分に種子島宇宙センター液体エンジン試験場において、LE-7Aエンジン燃焼試験（350秒）を実施し、良好にデータを取得した。これにより、今回の第7回試験をもって、今シリーズ（3～5月期）のLE-7A実機型エンジンの燃焼試験を終了する予定である。

今後、本試験シリーズの詳細なデータ評価及びエンジン製作工場における分解点検を実施することとしている。

今回の燃焼試験に用いたエンジンは、製作工場での点検整備の後、田代試験場での性能確認試験に使用する予定である。

また、次シリーズの種子島宇宙センターにおけるLE-7A実機型エンジン燃焼試験は、田代試験場での燃焼試験を終了し、現在製作工場にて点検整備中のエンジンにより、平成9年7～9月期に実施する予定である。

（参考）

試験番号：S7-129H燃焼試験結果概要（速報値）

1. 燃焼時間	350 秒
2. メイン燃焼圧力	約 122 kgf/cm ² a
3. 液体水素ターボポンプ回転数	約 41,900 rpm
4. 液体酸素ターボポンプ回転数	約 18,200 rpm
5. その他	
	* 温度計測点2箇所が断線モードを表示
	* 水素漏洩検知器作動（エンジン上部：可燃限界下限値の25%レベル）
	* 主噴射器エレメントの一部に損傷が見られる

